

## 「茨城県産重要魚種の生態と資源」に4魚種を追加しました！

### ～ヤナギダコ、ムシガレイ、アオメエソ、ユメカサゴを追加～

水産試験場では、本県沖で漁獲される主要魚種21魚種について、生態的特徴や資源動向をまとめた「生態と資源」をホームページで公開しています。今回4種類の底魚ヤナギダコ、ムシガレイ、アオメエソ、ユメカサゴを追加しました。

#### 今回掲載した魚種の特徴



#### ← ヤナギダコ (みずだこ)

市場では「みずだこ」と呼ばれています。底曳網の漁獲量では常にトップ5に入る重要魚種ですが、最近、漁獲量が減少しています。

茨城から北海道にかけての水深100mよりも深い水域で漁獲されます。



#### アオメエソ (めひかり)

最近漁獲量が急増した魚種で、平成28年の底曳網漁獲量1位の魚種です。生態的に不明な点が多い魚で、茨城で漁獲される魚は、黒潮によって南の海域から運ばれてくると考えられています。主に水深150～250mの海域で漁獲されます。唐揚げにするとおいしい魚です。



#### ↑ ムシガレイ

アオメエソ同様、漁獲量が急増している魚種で、平成28年は底曳網漁獲量8位となりました。日本の沿岸域に生息する魚で、茨城県では水深200mよりも浅い海域で漁獲されます。



#### ユメカサゴ (のどぐろ) ↑

市場では口の中が黒く見えるので「のどぐろ」と呼ばれています。漁獲量はそれほど多くありませんが、最近漁獲量が増えており、赤い魚なので市場では目立ちます。水深100m～350mの海域で漁獲されます。全国的に見ても成熟個体がなかなか見つからないなど、謎が多い魚です。

(水産試験場 定着性資源部)

詳しくは、水産試験場ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/suishi/index.html>



「生態と資源」へのQRコード

【次回予告】H30.3.27発行の「水産窓」は「長期漁海況予報」を予定しています。